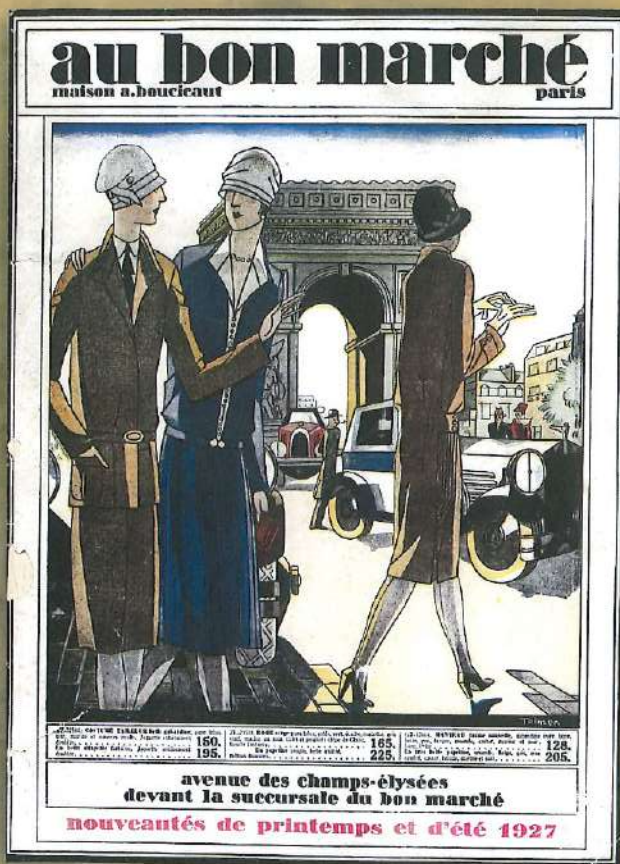


Athena Sources in Consumer Culture

FRENCH DEPARTMENT STORE CATALOGUES

フランス・デパート商品カタログ

Part 1: 1920-1929



20世紀前半までのフランスの
主要な百貨店のカタログを復刻するシリーズ！
総合カタログのほか臨時発行の特集号も加えて集成！

Volume 1: Au Bon Marché

ISBN 978-4-86340-319-2 • B4判 • c. 420 pp., incl. 19 col. ▶2020年11月

定価 本体 58,000円＋税

Volume 2: Au Louvre

ISBN 978-4-86340-320-8 • B4判 • c. 430 pp., incl. 28 col. ▶2020年11月

定価 本体 62,000円＋税

Athena Press

本シリーズについて

20世紀前半までのフランスの主要な百貨店のカタログを復刻するシリーズです。春夏号と秋冬号の年2回発行される総合カタログだけでなく、臨時発行の特集号—高級服、特売、リネン類、家具や室内装飾品、玩具を含む年末の贈り物など—も加わります。全体として19世紀末から1930年代まで、すなわち現代的百貨店の誕生から20世紀前半の最盛期までの一連の時代を構成します。商業史、経済史、デザイン史、消費文化論、社会文化論など、幅広いジャンルにおいて重要な一次資料です。

Part 1は1920年代のもので、名門デパートのボン・マルシェ(Bon Marché)、ルーヴル(Grands Magasins du Louvre)、ブランタン(Printemps)、サマリテーヌ(Samaritaine)、ギャラリー・ラファイエット(Galleries Lafayette)のカタログを収録します(順次刊行)。

商品カタログについて

日々の集客が業績に大きくかわる百貨店は、新聞などへの一連の宣伝、特売や展示会の開催、独自の広告宣伝物、例えば店のパンフレット、ポスター、スケジュール帳、絵はがきや子供向けの絵入りカード、そして何といても通販用の商品カタログ、の配布を通じて顧客に購買行動を促していました。1月末から2月初旬にリネン類、4月から5月に夏物、10月から11月に冬物、9月には家具や室内装飾品、そして12月になれば玩具やプレゼント品といった具合に、一年を通して取り組みがなされ、さらに冬物、夏物のクリアランスセールの時節も設定されるようになるなど、こうした百貨店の販売キャンペーンは顧客たちの暮らしに年間を通じて織り込まれていきました。

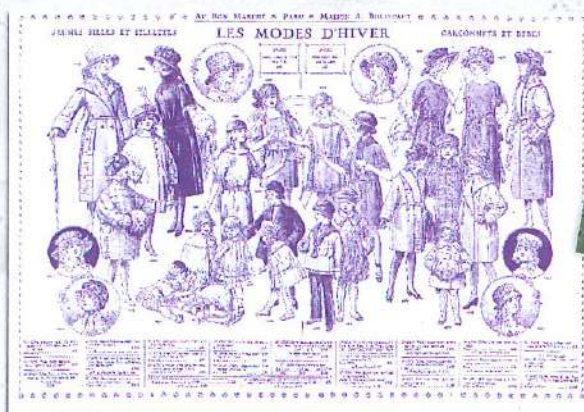
通販部門は収益の上で重要で、総売上の4分の1を超える額をもたらすケースがあったとされます。商品カタログは毎年数百万部が作成され、パリ、地方、植民地など海外へと広く発送されました。

総合カタログはほぼ年2回、春夏版と秋冬版が出ており、このほかリネン類、高級服、室内装飾、玩具とプレゼント品、特売なども各種作成されました。カタログは徐々に細分化されていき、教会礼拝、学校、各種スポーツ、ボーイスカウト、サイクリング、自動車運転、海や山のレジャーなど、さまざまな種類が発行されていました。

Contents

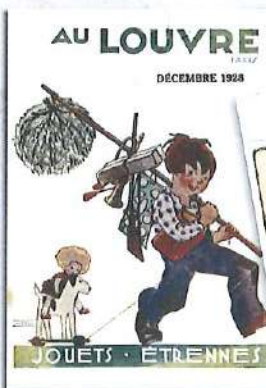
Volume 1: Au Bon Marché

- Toilettes d'hiver • Fourrures 1920 (冬物衣料)
- Jouets • Étrennes 1920–1921 (玩具・ギフト)
- Tapis • Ameublements 1921 (敷物・家具)
- Blanc 1924 (リネン類)
- Première Communion 1924 (「初聖体」特集)
- Étrennes 1924–1925 (ギフト)
- Ameublements • Couvertures • Literie • Tapis 1925
(家具・寝具・敷物)
- Hiver 1926–27 (冬物総合)
- Printemps et été 1927 (春夏物総合)
- Jouets 1927–1928 (玩具)



Volume 2: Au Louvre

- Blanc • Trouseaux • Toile 1920 (リネン類)
- Été 1920 (夏物総合)
- Hiver 1928–29 (冬物総合)
- Soldes hiver 1928 (冬のセール)
- Toilettes d'hiver 1928 (冬物衣料)
- Jouets • Étrennes 1928–1929 (玩具・ギフト)
- Été 1929 (夏物総合)
- Soldes été 1929 (夏のセール)
- Tapis • Ameublements 1929 (敷物・家具)





AU LOUVRE PARIS été 1926



Blouse en tulle, manches longues, col en V, boutons, 11.75.
 Robe en tulle, manches longues, col en V, boutons, 14.50.
 Robe en tulle, manches longues, col en V, boutons, 11.75.
 Robe en tulle, manches longues, col en V, boutons, 14.50.



38.115.
CHAPEAU feutre - véritable
 noir, marine, beige, vert, gris.
 Entrees: 50-55-57-59.
65. »

38.117.
CLOCHE en feutre
 noir, marine, beige,
 vert, gris.
 Entrees: 54-56-58-60.
49. »

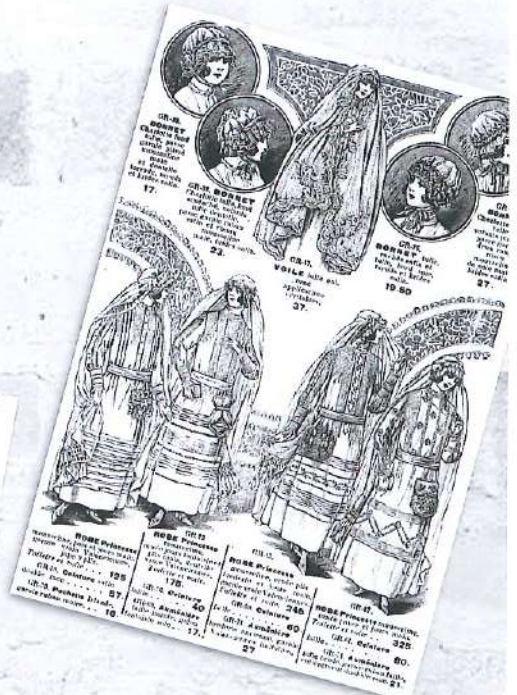
RIDEAUX BLANCS



10. **STORES FLAMANDS** sur toile blanche, jolies motifs brodés
 en toile grise. Hauteur 2-25. Largeur 1-30. Le store 29.50
 avec stores. Largeur 1-30. Le store 29.50
 avec stores. Largeur 1-30. Le store 29.50



1011. **LIT CAGE** en métal nickelé,
 garni de matelas et de literie.
 Hauteur 1-30. Largeur 1-30.
 Entrees: 1-30. 185. »
 230. »



10.115. **TABLIER** en tulle, manches longues, col en V, boutons, 11.75.
 10.116. **TABLIER** en tulle, manches longues, col en V, boutons, 11.75.
 10.117. **TABLIER** en tulle, manches longues, col en V, boutons, 11.75.



10.115. **COMBINAISON-JUPON**
 en tulle, manches longues, col en V, boutons, 11.75.
 10.116. **COMBINAISON-JUPON**
 en tulle, manches longues, col en V, boutons, 11.75.

30. »

パリの多くの百貨店は第二帝政期に創業しました。ナポレオン三世時代のセーヌ県知事ジョルジュ＝ウジェーヌ・オスマンによるパリの整備事業によって新設、また拡張された大通りにそのほとんどが面しています。こうした大型百貨店のなかではまずボン・マルシェが1852年セーヌ川左岸の古くからの大通り沿い店舗を構えましたが、他店はセーヌ川右岸、特にオスマンのパリ改造における最初の大型事業で1854年に完成したリヴォリ通り沿いに多くできました。ルーヴル、ペー・アッシュ・ペー (BHV, Bazar de l'Hôtel de Ville)、サマリテヌなどがそうです。またここより北のサン＝ラザール駅の近くにできた店もあり、特にオスマン通りにはプランタンが、1890年代になってギャラリー・ラファイエットが開業しました。サン＝ラザール駅は郊外路線の中でも乗降客が多く、パリ近郊の最富裕層が住む地区につながる路線の終着駅でした。

大通りの整備に象徴されるオスマンの都市改造にはじまり、万国博覧会の開催があり、鉄道駅、中央市場、高級専門店や、大型の劇場、ホテル、カフェ、レストランなどが続々と開業、19世紀後半から20世紀前半にかけてのパリはまさに商業と娯楽の都でしたが、こうした「パリ新時代」において百貨店は「消費の殿堂」としてその象徴的存在でした。商材の多様化、商業上のスケールメリット、自宅配送や通販、増加し続ける来店客を飽きさせない店の仕掛けによって、本シリーズが扱うこの時期に多くの百貨店は飛躍的に大きくなります。こうした中、ボン・マルシェ、ルーヴル、サマリテヌ、プランタン、ギャラリー・ラファイエットはビッグ5と称されるほどの売り上げを誇っていました。

第二次世界大戦の後、特に1970年代に入ってから業界の繁栄に陰りが出て、ビッグ5も例外ではありませんでした。ルーヴルが1974年に、サマリテヌが2005年に閉店となり、ともに今は高級な複合施設に再開発されており、他の3店も今は高級ブランドに特化した業態に変わってきています。

BON MARCHÉ



ボン・マルシェ百貨店は現代の百貨店の元祖と考えられています。商品を自由に回ることができ、定価が示され、家庭への配送、通信販売、ウィンドウ・ディスプレイ、返品受付、定期的な特売など、現代的な販売手法を持ち込みました。来店する女性客に連れ添う男性のための読書室、ビリヤード室、ビュッフェ、アート・ギャラリーも設置しました。創業は、アリスティッド・ブシコとその妻マルグリットが、セーヌ川左岸に元からあった店の運営に参画した1852年とされます。たちまちパリの百貨店業界で主導的な地位を得るほどに事業を拡張、セーヴル通りのこの大きな店舗は1869年から1887年にかけて改装を続けて巨大な建築となり、更なる発展を見せま

した。第一次世界大戦直前には別館が建設されましたが戦時中の1915年に焼失、1924年までに再建され食料品館としても利用が始まりました。その後何度か改装と拡張が行われ、1978年にグランド・エビスリー・ド・パリと改名されました。以来、高級食材の中心的存在になっています。

なお、両大戦間期のデザイン・装飾部門の隆盛も特筆すべき点です。1922年にボモヌアトリエが設立され、アールデコ派の室内装飾デザイナーのポール・フォロが責任者を務めました。1925年の現代産業装飾芸術国際博覧会(アールデコ博覧会)でのボモヌパビリオンは大盛況であったとされます。その後も不況期の訪れにもかかわらずビジネスは大きく成長し、店舗では喫茶室、理髪店、銀行窓口や旅行案内所が設けられるほどでした。しかしながら第二次世界大戦後は利益が減少、1980年代にLVMHグループ傘下に入ることになりましたが、それ以降もパリの最高級百貨店としての運営を続けています。

GRANDS MAGASINS DU LOUVRE

ルーヴル百貨店はホテル Grand Hôtel du Louvre の1階にあったショッピングギャラリー Galerie du Louvre として始まりました。このホテルは1855年の万国博覧会にナポレオン三世の賓客を泊めるために、パリ中心部のリヴォリ通りに面した、パレロワイヤルとルーヴル宮殿のすぐ近くに建てられた巨大なものでした。店は非常に成功して、20年後に創業者は建物全てを買い取り、ホテルから52部門を備える大型店に改装、1877年に Grands Magasins du Louvre として開業に至り、ボン・マルシェの競合店となりました。

第二次世界大戦中の1943年、ドイツの対空砲に撃墜されたイギリス空軍機の墜落によって店内のほとんどが破壊されてしまいましたが、戦後再建され営業を再開、その後1974年に閉店しました。1978年に高級アンティーク複合ショップ兼展示センターの内容で Le Louvre des Antiquaires として再オープンしましたが2015年に閉店し、現在複合施設にリニューアル中です。



【発行】

Athena Press

株式会社 アティーナ・プレス



〒112-0011 東京都文京区千石4-33-18

Tel: 03(3946)2117 Fax: 03(5977)8026

E-mail: eigyo@athena-press.co.jp

http://www.athena-press.co.jp

【取扱書店】